

カムチャツカと北海道の森にみられる植物たちの 『これが私の生きる道』

日程 平成28年3月13日(日) 15時00分～16時30分(開場:14時45分)

場所 三省堂書店札幌店 ブックス&カフェ UCC

共催 北海道大学 CoSTEP・日本学術会議北海道地区会議

講師 原 登志彦さん | 北海道大学 低温科学研究所 教授
司会 葛西 奈津子さん | CoSTEP 特任准教授・スポーツ&サイエンスライター



定員 30名(多数の場合は先着順になります)

参加費 500円(コーヒー・茶菓子代として)

お申し込み (1)『三省堂書店サイエンスカフェ HP』の申込フォーム↓よりお申し込み下さい。

<http://www.books-sanseido.co.jp/event/sc/index.html>

(2) 直接ご来店 三省堂書店札幌店サービスカウンターにて承ります。

お問い合わせ 三省堂書店札幌店 011-209-5600

内容紹介

熱帯域に比べて、寒冷域の生物多様性は小さいと考えられがちです。

原さんは、1997年からロシア極東のカムチャツカの北方林を研究してきました。

カムチャツカも含み、北緯45～70度に位置する北方林の総面積は地球上の全森林面積のおよそ3分の1にあたり、熱帯林に次ぐ広さです。カムチャツカの自然は世界自然遺産にも登録され、美しく多様な生態系を形づくっています。

原さんの調査地の1つコズイレフスクは、最も寒い1月の平均気温が-18℃、最も暑い7月でも15℃、年平均降水量は450mmと低温で乾燥した地域です。カムチャツカの森の植物たちは、このような過酷な環境で、それぞれに多様な生き方をしています。今後、地球環境の変化とともにカムチャツカや北海道など寒冷域の森はどうなっていくのでしょうか。世界でもめずらしいカムチャツカの森の研究者、原さんと一緒に、探検に出かけてみましょう。探検の後は日頃何気なく目にしている北海道の樹木を見る目がちょっと変わるはずです。